

協働推進モデル事業計画書

提案団体名	団体名	プライド岡山 (担当者 鈴木富美子)			
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市教育委員会指導課 岡山市女性が輝くまちづくり推進課 岡山市人権推進課		職氏名	女性が輝くまちづくり推進課 高村 植木
	担当 2名	職名	指導課 (人権教育室長)	職名	人権推進課
		氏名	河合 浩一		氏名
提案事業の名称	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業 ～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～				
提案事業の目的	主に学校現場で多様なセクシュアリティの共生を容認する雰囲気が醸成されることを支援し 多様性を認め合う社会の実現に寄与する。				
解決をはかりたい課題 の緊急性・重要性等 (市民 ニーズ含む) ※ニーズ把握等で行った調 査資料等がある場合は添付 してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <p>性的マイノリティの当事者、特に子ども達の多くが思春期に生きづらさを感じ、自己肯定感を育みにくい。学校をはじめ社会の中で、多様なセクシュアリティを認め合う雰囲気が醸成されておらず、誤解・知識不足からくる差別や偏見のため当事者は自らを隠して生きざるを得ない現状がある。思春期における自己否定や疎外感・孤立感、学校不応や自傷行為等につながり、進学・就職・結婚などその後の人生にも負の影響を与えることが多い。平成 27 年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業のアンケート調査を通じて、全回答者の約 6 割が「生きるのがつらい」と感じたことがあり、「不登校経験がある」「登校しなくなかった」も計 4 割超になることがわかった。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>添付資料の通り、教師の理解や適切な対応を求める声が多い。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>学校生活及び社会における当事者の生きづらさを軽減し、多様なセクシュアリティの共生を認め合う雰囲気が社会に醸成されるための支援活動をする。</p>				
協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を含む)	<p>1. 協働の必要性和相乗効果</p> <p>教育委員会と協働することで、より効率的広範囲に先生方へ周知徹底できる。 女性が輝くまちづくり推進課や人権推進課と協働することで、一般市民への啓発広報活動にも取り組むことができる。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <p>現在岡山における唯一の LGBTQ 当事者自助グループとして、ニーズを的確に把握し啓発活動に取り組む。居場所づくりを通して、困難に直面する当事者を医療・福祉等の適切な支援につなげる。</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <p>教育委員会指導課は、各学校現場への広報と教職員研修の推進 女性が輝くまちづくり推進課・人権推進課は、岡山市職員や一般市民への啓発広報</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <p>パンフレット送付時に教員用アンケートを添付し、教育現場での現状や課題を調査して次年度の研修内容につなげる。サロン出席状況と参加者の声から次年度も継続するか他の支援方法に発展させるかを探る。 パネル展や報告会への参加人数やメディア掲載件数から計る。</p>				

<p>事業の内容</p>	<p>教職員に性的マイノリティに関する理解を深めてもらうため、平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業のアンケート調査をもとにしたパンフレット（A4版8ページ）を作成する。LGBTQに関する基礎知識・当事者が困難にぶつかる場面、望ましい対応、支援機関等を記載し、岡山県内の全小・中・高・特別支援学校へ配布し、教職員の理解を助けるとともに研修推進に役立ててもらおう。</p> <p>現在、困難に直面する児童・生徒とその保護者のためのサロンを月1回程度と、支援にあたる教師のためのサロンをリーフレット配布後に開き、悩み相談や情報交換の場を提供するとともに、適切な医療・福祉等の支援機関につなぐ。</p> <p>一般市民向けの啓発リーフレットと展示用パネルを作成し、アンケート結果を一般市民に報告する場を設けて、啓発に利用する。リーフレットとパネルには当事者向け相談機関も明記する。人権フェスティバル岡山など人権啓発に関するイベントでブース出展・パネル展を実施し、リーフレットを配布する。また、学校を取り巻く地域社会、特に保護者らに向けPTAの集まりや研修などでもリーフレットを配布・活用してもらい、教職員向けパンフレットと併せて、多様性を認め合う雰囲気づくりに向け相乗効果を狙うものとする。</p>													
<p>事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 鈴木</p> <p>2. 個別事業責任者 教職員用パンフレット 八田 報告会・パネル展・リーフレット作成 野崎 サロン 金平</p> <p>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 自助グループとして当事者と関わり交流会運営や相談・支援活動を行ってきた。 行政機関や学校でのLGBTQ研修で講師をつとめてきた。</p>													
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" data-bbox="467 1025 1401 1377"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月～12月</td> <td>教職員用パンフレットの編集・作成・配布</td> </tr> <tr> <td>5月～10月</td> <td>一般市民向け啓発リーフレットの編集・作成 パネルの作成</td> </tr> <tr> <td>5月～2月</td> <td>サロン開催（月1回）</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業・アンケート結果報告会</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>人権フェスティバル岡山へのブース出展</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	5月～12月	教職員用パンフレットの編集・作成・配布	5月～10月	一般市民向け啓発リーフレットの編集・作成 パネルの作成	5月～2月	サロン開催（月1回）	10月	平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業・アンケート結果報告会	12月	人権フェスティバル岡山へのブース出展
月	実施事業内容													
5月～12月	教職員用パンフレットの編集・作成・配布													
5月～10月	一般市民向け啓発リーフレットの編集・作成 パネルの作成													
5月～2月	サロン開催（月1回）													
10月	平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業・アンケート結果報告会													
12月	人権フェスティバル岡山へのブース出展													
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1" data-bbox="435 1377 962 1648"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会</td> <td>相談・支援先</td> </tr> <tr> <td>チャイルドライン岡山</td> <td>相談のつなぎ</td> </tr> <tr> <td>よりそいホットライン セクマイ専門ライン</td> <td>相談のつなぎ</td> </tr> <tr> <td>さんかく岡山</td> <td>相談先</td> </tr> <tr> <td>岡山大学医学部保健学科中塚研究室</td> <td>リーフレット監修など学術的助言</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会	相談・支援先	チャイルドライン岡山	相談のつなぎ	よりそいホットライン セクマイ専門ライン	相談のつなぎ	さんかく岡山	相談先	岡山大学医学部保健学科中塚研究室	リーフレット監修など学術的助言	
名称	期待される役割													
岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会	相談・支援先													
チャイルドライン岡山	相談のつなぎ													
よりそいホットライン セクマイ専門ライン	相談のつなぎ													
さんかく岡山	相談先													
岡山大学医学部保健学科中塚研究室	リーフレット監修など学術的助言													
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p><input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>具体的な目標（計画）があれば記載してください。 平成29年度以降、岡山市教委主催の教職員必修人権研修に性的マイノリティも対象として加えてもらい、協働で研修を実施する。 平成28年度事業の中で当事者ニーズをつかみ、平成29年度以降に、女性が輝くまちづくり推進課や人権推進課などと協働してできることの検討を行う</p>													

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業 ～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～
--------------	--

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体		プラウド岡山会費収入から 30,000円
	自己資金	144,000	寄附 114,000円
	合同提案団体 負担金等		
自己資金等合計(a)		144,000	
事業収入見込		0	
事業収入見込合計(b)		0	
岡山市補助金申請額(c)		576,000	
収入合計(d)=(a)+(b)+(c)		720,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	教職員用パンフレット	522,200	デザイン編集費(頁3万円×8頁)259,200円 印刷・製本(5000部)129,600円 郵送費(送料・封筒等)133,400円
	サロン運営費(月1回×10回)	15,000	施設使用料1回1,000円 茶菓子等 1回500円
	パネル展、報告会	26,000	パネル 2,000円×10枚
	啓発リーフレット	54,000	報告会 会場費5,000円 資料作成1,000円 デザイン編集・印刷 A4三つ折り10,000枚
事業実施経費合計(e)		617,200	
管理運営経費	パンフレット郵送作業人件費	12,800	800円×4時間×4人
	サロン運営人件費	90,000	1回 1,000円×3時間×3人×10回
管理運営費合計(f)		102,800	
総事業費(g)=(e)+(f)		720,000	※収入合計(d)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること